令和3年度ふくしま学力調査結果について

郡山市教育委員会

1 調査の概要

(1)調査目的

本県の児童生徒の学力や学習に関する事項等を把握することで、教育施策や指導の工夫改善を図り、児童生徒一人一人の学力を確実に伸ばす教育を推進します。

- (2)調査内容
 - ① 児童生徒に対する調査
 - a. 教科に関する調査
 - 小学校・義務教育学校前期課程:国語、算数
 - 中学校・義務教育学校後期課程:国語、数学
 - b. 質問紙調査
 - 学習意欲、学習方法及び生活習慣等に関する事項
 - ② 学校質問紙調査 (Web システムより回答)

学校における指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

- (3)調査対象
 - ① 小学校·義務教育学校前期課程 51 校 第 4 学年~第 6 学年(児童 7,736 名)
 - ② 中学校·義務教育学校後期課程 27 校 第 1 学年·第 2 学年(生徒 5,249 名)

2 調査結果の公表

- (1) 各教科における平均正答率と学力のレベル
- (2) 各教科における平成 31 年度(令和元年度)調査から学力が伸びた児童生徒の割合
- (3) 児童生徒質問紙調査の回答と学力階層との相関関係

【学力のレベルについて】

様々な難易度の問題を出題し、それに対する正答や誤答の状況を見ることで、学力を判断しています。学力は、レベル 1 からレベル 12 までのレベルで表されています。各学年の測定は、小学4年生であれば、レベル 1 からレベル 7 のように 7 レベルの間で行っています。また、それぞれのレベルは、さらに細かく 3 層(高い順に $A \rightarrow B \rightarrow C$)に分かれており、同じレベルの中でもスモールステップで「学力の伸び」が分かるようになっています。児童生徒には、学力のレベルはこの小さな層で分けた 1-Cから 12-Aまでの 36 段階で提示されます。

【学力のレベル一覧】

		小学4年生	小学5年生	小学6年生	中学1年生	中学2年生	中学3年生
	レベル 12						A B C
	レベル 11					A B C	A B C
	レベル 10				A B C	Å B C	Å B C
高	レベル9			A B C	A B C	A B C	A B C
1	レベル8		A B C	A B C	A B C	Ä B C	Ä B C
· 学	レベル7	А В С	. А В С	Ä B C	Ä B C	Ä B C	Ä B C
学力	レベル6	Ä B C	Ä B C	A B C	A B C	Ä B C	Ä B C
1	レベル5	A B C	A B C	Ä B C	A B C	A B C	Ç
低	レベル4	A B	A B	A B	A B	J	
1-4	レベル3	A B	A B	A B			
	レベル2	A B C	A B C				
	レベル1	Ä B C	Ü		2. 福白店	34427	

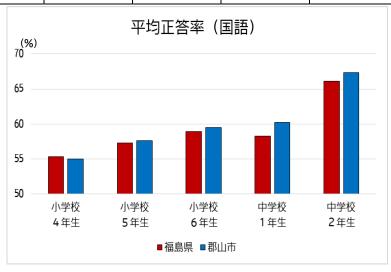
※ 福島県は中学3年生の実施なし

3 調査結果

(1) 各教科における平均正答率と学力のレベル

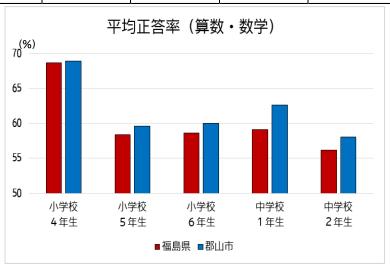
【国語】

国語		小学校 4 年生	小学校 5 年生	小学校 6 年生	中学校 1 年生	中学校 2年生
福	平均正答率	55.3%	57.3%	58.9%	58.3%	66.1%
島県	学力のレベル	6-A	6-A	7-B	7-A	8-A
郡	平均正答率	55.0%	57.6%	59.5%	60.2%	67.3%
山市	学力のレベル	6-A	6-A	7-B	8-C	8-A
	正答率の比較 5-福島県の値)	-0.3	0.3	0.6	1.9	1.2



【算数・数学】

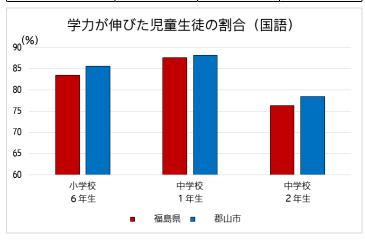
× × 1						
算	数・数学	小学校 4 年生	小学校 5 年生	小学校 6 年生	中学校 1 年生	中学校 2年生
福	平均正答率	68.7%	58.4%	58.6%	59.1%	56.2%
島県	学力のレベル	5-B	6-C	6-A	7-B	8-C
郡	平均正答率	68.9%	59.6%	60.0%	62.6%	58.1%
山市	学力のレベル	5-B	6-C	7-C	7-A	8-C
	正答率の比較 市ー福島県の値)	0.2	1.2	1.4	3.5	1.9



(2) 各教科における平成 31 年度(令和元年度)調査から学力が伸びた児童生徒の割合

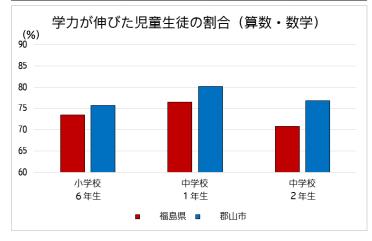
【国語】

国語	小学校 6 年生	中学校 1 年生	中学校 2年生
福島県	83.5%	87.6%	76.3%
郡山市	85.6%	88.2%	78.5%
県との比較 (郡山市-福島県の値)	2.1	0.6	2.2



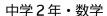
【算数・数学】

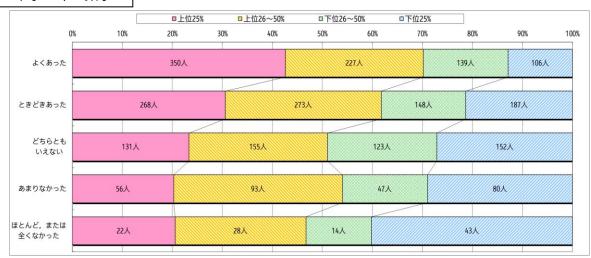
•					
	算数 数学	小学校 6 年生	中学校 1 年生	中学校 2 年生	
Ī	福島県	73.5%	76.5%	70.8%	
	郡山市	75.7%	80.2%	76.9%	
	県との比較 (郡山市-福島県の値)	2.2	3.7	6.1	



- ◎「学力が伸びた児童生徒」の算出について
- 1. 集計対象となる児童生徒の「学力のレベル」を数値化(「1-C」は「1」~「12-A」は「36」) し、前年度との差を計算しました。
- 2. 令和2年度の調査が中止だったため、令和3年度は、一昨年より数値が2以上増加している児童生徒を「学力を伸ばした児童生徒」として算出しました。

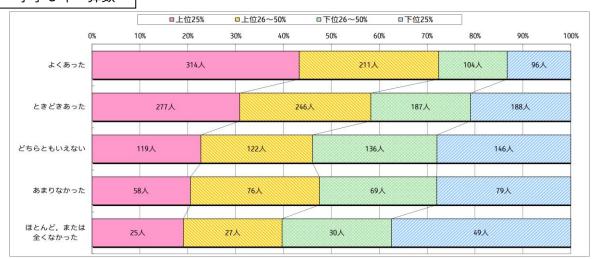
- (3) 児童生徒質問紙調査の回答と学力階層との相関関係
 - 「課題の解決に向けて、話し合ったり交流したりすることで、自分の考えをしっかりもてるようにする」「グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決する」「話し合いや集めた資料から、自分の考えが変わったり、深まったりする」など、話し合ったり意見を交流したりしながら自分の考えをもたせ、課題を解決したり、考えを深めたりさせる授業を行っている学級の児童生徒ほど学力が高い傾向が見られました。
 - (例】グループやペアで、話し合ったり、意見や考えを出し合ったりして課題を解決したことはどのくらいありましたか





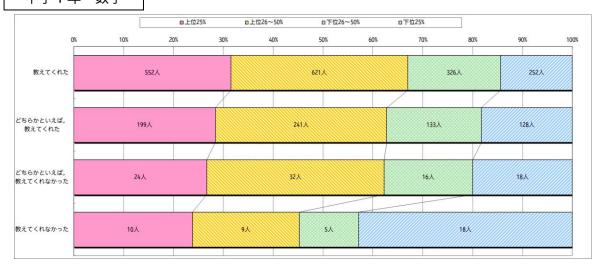
- 「授業の始めに、今日はどんな学習をするのかを把握してから学習に取り組んだこと」「学習した内容を授業の中で確かめたり、復習したりする場面があったこと」「授業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを自覚したこと」が多いほど学力が高い傾向が見られました。
- (例】付業の終わりに、授業で学んだことを振り返り、自分がわかったことやわからなかったことを自覚したことはどのくらいありましたか

小学6年•算数



- 「学校の先生たちは自分のよいところを認めてくれましたか」「学校の先生たちは自分のな やみの相談にのってくれましたか」「先生は、授業やテストで理解していないところや、まち がえたところについて、わかるまで教えてくれましたか」などの項目で高得点であるほど、学 力が高い傾向が見られました。
- 例【問】先生は、授業やテストで理解していないところや、まちがえたところについて、わかるまで教えてくれましたか

中学1年•数学



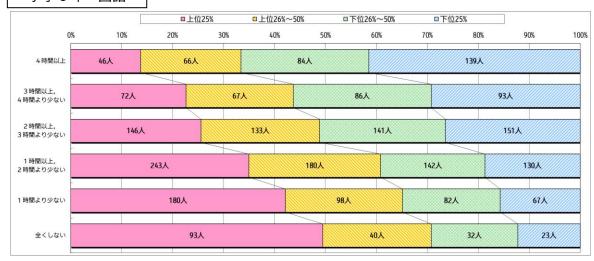
児童生徒が話し合ったり意見を交流したりしながら自分の考えをもち、課題を解決したり、考えを深めたりすることで学力が向上する傾向があることから、これからも主体的・対話的で深い学びの充実を図ることができるように取り組みます。

また、授業の課題に対して見通しをもって学習に臨んだり、学習内容を振り返って何ができて何ができなかったかを確認したりすることで学力が向上する傾向があることから、児童生徒の興味・関心を高めることができるように授業の始まりを工夫して、学習課題をはっきりさせるとともに、課題解決の見通しをしっかりともたせること、そして、授業の振り返りを確実に行ってその時間に学習したことの確認をさせることにを重視して指導を行います。

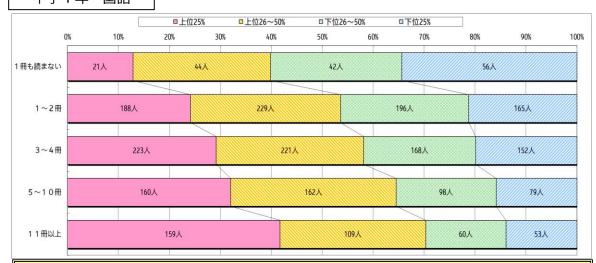
さらに、学級担任や教科担当との信頼関係が築かれ、教師と児童生徒の人間関係が良好であるほど学力の向上が認められる傾向があることから、普段から、児童生徒のよいところを認めて声をかけたり、児童生徒の悩みの相談に乗ったりすることで、良好な関係を築くことができるように努めてまいります。

- 「テレビゲームをする時間が少ないほど学力が高い」「携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをする時間が少ないほど学力が高い」「テレビゲームをすることや、携帯電話やスマートフォンで通話やメール、インターネットをすることについて、家の人と約束を決めている方が、決めていない方よりも学力が高い」傾向が見られました。
 - 例【問】ふだん(月〜金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータ ゲーム、携帯式のゲーム、携帯電話やスマートフォンを使ったゲームも含みます)を しますか

小学6年・国語



- 「本(教科書や参考書、漫画や雑誌を除く)を読む冊数が多いほど学力が高い」「家に、自分や家族が読む本の冊数が多いほど学力が高い」傾向が見られました。
 - 例【問】1か月に、何冊くらいの本を読みますか(教科書や参考書、漫画や雑誌は除きます) 中学1年・国語



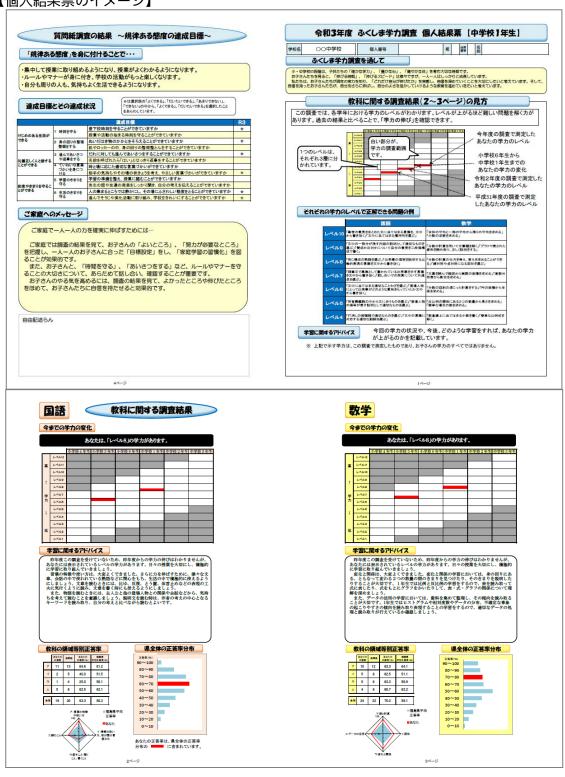
テレビゲームやスマートフォンを使う時間が長い児童生徒ほど学力が下がる傾向があることや、テレビゲームやスマートフォン等を使う時間について家の人と約束をしている児童生徒ほど学力が高い傾向があることから、テレビゲームやスマートフォン等の使い方についての約束を、各家庭でもう一度確認するとともに、使用状況を確認することを保護者の皆様にお願いしていきます。

また、読書量が多い児童生徒ほど学力が高い傾向があることから、児童生徒が読書に親しむことができるよう、学校における読書活動の充実を図るとともに、各家庭と協力し、 地域の図書館の活用や親子読書の推進などに努めていきます。

(4) 各学校における改善策等

- ① 各学校では、本市の結果分析の他、自校の正答率、学力を伸ばした児童生徒の割合、児童生徒 質問紙調査の回答と学力階層との相関関係など、より詳細な分析をとおして、「基礎学力向上プラン」の見直しや日常の授業改善を図り、児童生徒一人一人の学力の向上に努めます。
 - また、児童生徒に配付される個人結果票の「学習に関するアドバイス」や「教科の領域別正答率」などを活用し、正答率の高い領域をさらに伸ばしたり正答率の低い領域を克服したりするための指導をします。その際、平均点や他の児童生徒と比較するのが重要ではなく、自分の学力がどれだけ伸びているのかを知ることが重要であることを伝えます。
- ② 11月8日に予定している「第2回郡山市学力向上支援事業全体会議」において、学力向上に有効だった各学校の対策や取組等について、中学校区や全体で協議することにより、小中学校が連携して指導方法の改善に役立てます。

【個人結果票のイメージ】



* 令和3年10月下旬に、福島県教育委員会が、調査結果概要(学力の伸びの状況、質問紙調査の結果等)を公表予定です。